

日本を代表する青銅器の一つに、弥生時代の祭祀に使用された「銅鐸」があります。近畿地方を中心に広がりを見せる銅鐸は、兵庫県が日本一の出土数を誇ります。いにしへの技術と美の結晶である銅鐸を大阪・関西万博の開催にあわせて展示するとともに、国立文化財機構所蔵品貸与促進事業の補助を受け東京国立博物館所蔵の銅鐸も「里帰り」します。また、銅鐸を作る際に使用された鋳型や道具、後世の人々によって描かれた絵図なども展示し、神秘的なパールにまつまれた銅鐸について、様々な面から考えます。



上高野銅鐸鋳型 [赤穂市立歴史博物館・県指定]



復元銅鐸
[県立相生産業高校作成]



今宿丁田遺跡 銅鐸鋳型
[姫路市教育委員会・市指定]



名古山遺跡 銅鐸鋳型
[姫路市教育委員会・市指定]



『淡路草』『堅磐草』『味地草』に描かれた銅鐸 [淡路文化史料館]



石井谷2号銅鐸 [東京国立博物館]



破碎実験1号銅鐸 [当館]

講演会

事前申込制 13:30~15:00 (12:45開場)
当館講堂、定員72名【無料】

- 5月10日(土) 「銅鐸への挑戦
▶申込期間 3/11~4/22
~作る・壊す・絵図をよみとく~
藤原怜史 (展覧会担当学芸員)
- 5月24日(土) 「弥生時代中期における
▶申込期間 3/25~5/8
銅鐸生産の動態」
菊池 望 (東京国立博物館)
- 6月14日(土) 「銅鐸埋納地の選定と地形環境」
▶申込期間 4/15~5/27
大嶋昭海 (当館学芸員)

特別展解説 当日受付 13:30~14:00

- ① 5月18日(日) ② 6月22日(日)

銅鐸の音色を聴こう

毎週かわる、銅鐸の音色

銅鐸には音を鳴らすための「舌」という棒が装着されます。銅や石の舌に加え、木や鹿角でも舌を復元し、週替わりで復元銅鐸の音色を変化させます。

銅鐸の音色 聞き比べ 講演会後ミニ解説・展示解説の後

古代体験講座 事前申込制

- 5月31日(土) 遺跡ウォーク
▶申込期間 3/31~4/30 「六甲山麓の銅鐸出土地を巡る」
- 6月8日(日) 金属のオリジナルミニ銅鐸チャームづくり
▶申込期間 4/8~5/8
- 6月29日(日) 金属の本格派ミニ銅鐸づくり
▶申込期間 4/29~5/29



古代体験講座の詳細・お申込みはこちらから

講演会予約方法

※応募者多数の場合は抽選となります。当落に関わらず、抽選結果をお知らせします。▶

▶オンラインでの予約

- 当館ホームページより予約いただけます。

講演会の詳細・お申込ページはこちら▶

▶往復はがきでの予約(1枚につき1名1講演のみ)

- 往復はがきに、下記の内容を記入してください。

- ①開催日・講演会名 ②名前(フリガナ)・年齢
- ③住所 ④電話番号(当日連絡のつく番号)

送付先(往信)〒675-0142 加古郡播磨町大中1-1-1

兵庫県立考古博物館 学芸課



連携企画

スタンプラリー

『ひょうご銅鐸めぐり』

兵庫県内で銅鐸を展示している博物館・資料館と連携し、スタンプラリーを実施します。



詳細はこちらのホームページ▶

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。
兵庫県立考古博物館
Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

〒675-0142 加古郡播磨町大中1-1-1
【電話】079-437-5589 【FAX】079-437-5599
【HP】https://www.hyogo-koukohaku.jp/



アクセス

【電車】・JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分
・山陽電車播磨町駅から喜瀬川に沿って徒歩25分
【車】・第2神明/加古川バイパス明石西ICから約3km
※自動車でお越しの方は町営大中遺跡公園駐車場(64台/有料)もしくは町営野添であい公園駐車場(50台/有料)をご利用ください。イベント等の実施により混雑する場合がありますので、ご注意ください。

